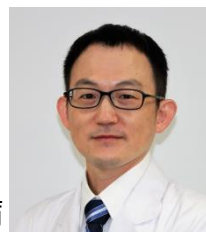




・部長就任のご挨拶

総合診療科 部長 桑原 篤憲 (くわばら あつのり)



この度、2022年6月1日付で川崎医科大学附属病院・総合診療科・部長を拝命いたしましたので、ご挨拶を申し上げます。

私は2001年に本学卒業後、同附属病院で初期研修を行い、初期研修後、内科学（腎）（現、腎臓・高血圧内科学）に入局し、同附属病院や住友病院、国立循環器病研究センターで後期研修を行いました。2007年に本学大学院に入学し基礎研究を行いました。卒業後、臨床研究のデザインを学ぶ機会を頂いたのがきっかけで臨床研究やエビデンスに基づいた医療（EBM）に興味を持ちました。2014年に腎臓内科医長となった後、2017年から総合診療科副部長となり、現在に至っております。

総合診療科では発熱や全身倦怠感など特定の臓器・疾患を限定しない非選択外来を行いました。総合診療科は当院と地域の住民や医療機関とをつなぐハブとして機能し、院内各部門と協力し、病院全体として患者さんの健康上の問題に取り組んでまいりました。

エビデンスのみならず、患者さんの嗜好や経験、環境・状況、医療者の経験などを考慮し個々の患者さんにとって最善・最適な医療を、専門医や多職種と連携して提供する事こそが“真のEBM”であると私は考えています。つまりエビデンスのみに偏重しない“真のEvidenced Based Medicine”の実践を行い、地域医療に貢献したいと考えています。

皆様におかれましては、今後とも何卒、ご指導ご鞭撻のほどを何卒、よろしくお願い申し上げます。

・部長就任のご挨拶

消化器内科 部長 吉田 浩司 (よしだ こうじ)



2022年6月1日付で川崎医科大学消化器内科学教室教授ならびに同附属病院消化器内科部長（胆膵）を拝命致しましたので、謹んでご挨拶申し上げます。

私は1995年（平成7年）広島大学を卒業後、同附属病院での内科研修を経て、1997年から6年間、自治医科大学で間野博行教授（現国立がん研究センター理事・ゲノム情報管理センター長）のもとで膵癌の遺伝子発現に関する研究を行いました。それと同時に会津中央病院での消化器診療にも携わり、極めて多くの手技を経験させていただきました。2003年に川崎医科大学に着任した後は皆様に支えられながら、膵胆道疾患の診療に従事してまいりました。2013年に胆膵インターベンション学講座（寄附講座）を設立して頂き、膵胆道癌初期像の解明、超音波内視鏡・ERCPに関連した診断・治療技術の改良と安全性の向上に取り組んでおります。近年は画像診断技術・化学療法・内視鏡的補助療法が進歩し、膵胆道癌の予後は改善しておりますが、他のがん種には遠く及びません。皆様との連携をさらに強化させていただくとともに、SNSやアプリの利用などにより効率の良い拾い上げ体制を作り上げ、一人でも多くの膵胆道癌患者さんを完治につなげたいと考えております。糖尿病（特に初発・増悪）・慢性膵炎／急性膵炎の既往・膵癌家族歴・膵嚢胞や膵管拡張・膵脂肪変性（膵実質の凹み・膵萎縮）などの膵癌危険因子を有していたり、すい癌リスク診断アプリで高危険群と判定された際には、腹部超音波検査を中心とした画像による定期的な経過観察が必要です。一度ご相談いただければと存じます。

患者さんのニーズに合わせた高度な医療が提供できるよう精進する所存でございます。皆様には引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

すい癌リスク診断アプリ (<https://doctor-health.net>)





消化器内科 部長 仁科 惣治 (にしな そおじ)



この度、2022年6月1日付で川崎医科大学消化器内科学（肝臓部門）教授ならびに同附属病院消化器内科部長の職を拝命いたしました。この場を借りまして、謹んでご挨拶申し上げます。

私は高校時代までは地元の岡山県倉敷市で育ちました。2002年に山口大学卒業後、山口大学医学部消化器病態内科学（旧第一内科）に入局しました。その後、同大学の大学院博士課程を修了し、2008年からの小倉記念病院での勤務を経て、2009年より川崎医科大学肝胆膵内科学に赴任いたしました。

その後は肝疾患を中心に診療を行い、研修医もしくは学生に対する教育の傍らで、自らの研鑽も行って参りました。

私はこれまでに、院内の肝炎ウイルス感染対策に対する取り組みなどにおいて中心的な役割を担って参りました。当院において、電子カルテへの肝炎ウイルスアラートシステム導入も含めた肝炎ウイルス患者受診勧奨への取り組みを進めて参りました。また、以前より当院の肝臓病教室において、患者さんに対する講演担当もして参りました。現在はコロナ感染状況などの関係で開催が困難な状況下にはありますが、今後は機会があれば是非この活動も進めていきたいと思っております。

これまで培った経験を活かして、肝疾患診療を中心に川崎医科大学附属病院および地域医療の発展に貢献したいと思っておりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

・患者診療支援センターからのお知らせ

「かかりつけ医」相談窓口設置のお知らせ

日ごろから患者診療支援センターへご理解、ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

2022年4月から、患者診療支援センター内に「かかりつけ医」相談窓口を設置しています。紹介先を決める段階で、自分で探すことが難しい患者さん、複数科受診があり各科の調整が必要な患者さん、紹介することについてのご理解が難しい患者さん等いらっしゃいましたら患者診療支援センターで対応のお手伝いをさせていただきます。

患者さんの診療情報等ご不明な点がございましたら、患者診療支援センターにお気軽にご相談いただければ幸いです。

今後ともよろしくお願い致します。

